

なすからすやま 報

No.136

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

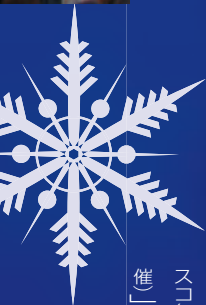
冬の山あげ.....	2
第5回市議会定例会.....	6
那須烏山マラソン大会.....	8
市表彰式.....	10
近代化遺産全国一斉公開2016.....	12
市青樹祭.....	14
まちのわだい.....	16
インフォメーション.....	18
シリーズ 烏山高校ってこんなところ！...	20

豪華絢爛(12月11日、冬の山あげ)

2017
January



①



冬の山あげ

「鳥山の山あげ行事」ユネスコ無形文化遺産登録記念



③



②



④



⑤

① 厚着をする観客が目立つ「冬の山あげ」 ② 踊りに欠かせない常磐津を披露する皆さん ③ ガマに乗った滝夜叉姫の登場 ④ 屋台を引いて歩く金井町の皆さん ⑤ 熊田太々神楽を披露 ⑥ 鳥山大橋越しに打ち上がる祝賀花火 ⑦ 大山をあげる若衆。

12月11日(月)、「鳥山の山あげ行事」以下「山あげ行事と表記」が、全国33件の祭礼行事とともに、ユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念して、祝賀イベント「冬の山あげ鳥山山あげ保存会・ユネスコ無形文化遺産登録祝賀イベント実行委員会主催」が開かれました。会場となった

社祭の屋台行事」がある鹿沼市の佐藤信市長がイベントに駆けつけ、登録を祝福しました。大谷市長は、「登録を心から喜ぶたい。これから、世界に誇れるこの祭りを世界に発信していきたい」とあいさつ。「一方で佐藤市長は、「鹿沼市と那須烏山市がともに連携し、後世に受け継いでいきたい」



⑥



JR鳥山駅前には、無形文化遺産に登録となった山あげ行事を一目見ようと、凍てつくような寒さにもかかわらず、県内外から1万人が訪れ、にぎわいを見せました。

初めて冬に開催された山あげ行事。記念公演として芸題「将門」が2公演行われたほか、郷土芸能「熊田太々神楽」の舞が披露されました。

また、無形文化遺産登録に際した祝賀式典も同時に行われ、大谷範雄市長をはじめとした関係者や、県内で同時に登録となった「鹿沼今宮神

と祝辞を述べました。

駅前の広場では、「おもてなし広場」として、20を超える出店団体により、八溝そばや鮎の塩焼き、中山かぼちゃを使った饅頭など本市の名産、観光物産のほか、豚汁、焼き鳥など様々なものを取り扱う店が並び、訪れた観光客をもてなしました。

そして、日が暮れる午後5時から、那珂川河川敷から「祝賀花火」が約1500発打ち上げられ、冬の夜空を彩りました。



⑧舞台裏で支える若衆 ⑨屋台道具を乗せて人力で走る地車 ⑩にぎわう駅前のおもてなし広場 ⑪大宅太郎光圀に正体を見破られた滝夜叉姫 ⑫テンポの良いお囃子を奏でる囃子方 ⑬公演前の口上 ⑭舞台裏から見た景色 ⑮大勢の人が見守る中行われた祝賀式典。

烏山の山あげ行事の起源

今から450年ほど前の永禄3年(1560)、時の烏山城主那須資胤が、烏山地方の疫病防除・五穀豊穰・天下泰平を祈願し、大桶村から牛頭天王を烏山(酒主村)に勧請しました。

当初はその祭礼の奉納余興として、相撲や神楽獅子などが行われていましたが、次第に大規模になり、延宝元年(1673)には屋台ができ、後に、はりか山を背景に狂言を行うようになりました。さらに、江戸末期から明治にかけては、江戸で常磐津所作が流行したのをきっかけに、常磐津所作を奉納余興として行うようになり、今日のような全国でも類例を見ない絢爛豪華な移動式野外劇となりました。

昭和54年2月には、国の重要無形民俗文化財に指定、そして、平成28年12月には、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

この「烏山の山あげ行事」は、現在、市内旧6町による輪番で、毎年7月の第4土曜日を含む金曜・土曜・日曜の3日間行われます。



ちょっとしたギモンにお答えします

「烏山の山あげ行事」を含む、全国33件の祭礼行事が、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

しかし、「そもそもユネスコ無形文化遺産って何?」、「山・鉾・屋台行事って何?」という人も多いはず…。広報なすからすやまでは、そんなちょっとしたギモンにお答えします。

ユネスコ無形文化遺産とは?

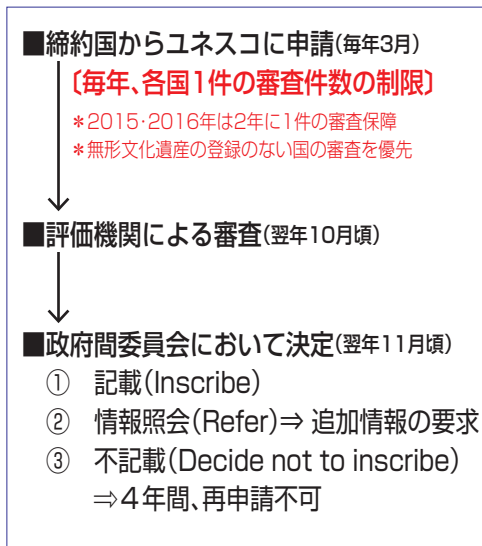
ユネスコ無形文化遺産(以下「無形文化遺産」と表記)は、世界にある伝統的舞踊、音楽、演劇、工芸技術、祭礼等の無形文化遺産を消滅の危機から保護し、次世代に伝えていくための国際的な協力や援助の体制を確立することを目的としたユネスコ事業の1つです。

この無形文化遺産の代表一覧表への記載の取り組みは、平成15年3月に開催されたユネスコの総会において採択

され、後に発行された無形文化遺産の保護に関する条約に基づき、平成18年4月から開始されました。

日本においては、平成20年から平成28年までに、「能楽」、「人形浄瑠璃文楽」、「歌舞伎」、「雅楽」、「和食・日本人の伝統的な食文化」、「和紙・日本の手漉和紙技術」そして、今回登録となった「山・鉾・屋台行事」など計21件が無形文化遺産に登録されています。

▼登録までの流れ



※政府間委員会とは、無形文化遺産の保護に関する条約の締約国から選出された24カ国で構成される会議です。年1回(毎年11月)開催され、無形文化遺産の代表一覧表への記載について最終決定されます。

「烏山の山あげ行事」無形文化遺産登録への道のり

「山・鉾・屋台行事」は、日本政府が提案した「秩父祭の屋台行事と神楽」や「高山祭の屋台行事」が平成23年の第6回政府間委員会において、すでに登録されていた「日立風流物」や「京都祇園祭の山鉾行事」との類似性を指摘されたことを踏まえ、「日立風流物」や「京都祇園祭の山鉾行事」を拡張する形で、全国33件の国指定重要無形民俗文化財をグループ化し、平成27年3月に日本政府が提案したものです。

昨年の11月28日(月)〜12月2日(金)の日程で、エチオピアの首都アディスアババで開催された第11回政府間委員会において、「山・鉾・屋台行事」は、日本時間12月1日午前2時02分、無形文化遺産への登録が決定されました。



全国33件の祭礼行事をグループ化 「山・鉾・屋台行事」ってなに?

今回、「山・鉾・屋台行事」として、無形文化遺産に登録となった「烏山の山あげ行事」。この「山・鉾・屋台行事」は、地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となり執り行う「山・鉾・屋台」の巡行を中心とした全国33件の国指定重要無形民俗文化財である祭礼

行事をグループ化したものです。

「烏山の山あげ行事」は、屋台の巡行を中心とした仲間の中で、日本最大の移動式野外劇といわれ、屋台が舞台に早変わりするなど独自の進化を遂げたオンリーワンの祭礼行事といえます。

第5回市議会



平成28年度は6会計を補正

一般会計総額は121億2656万3千円に

平成28年第5回市議会12月定例会が11月29日(火)から12月6日(火)までの8日間の日程で開かれ、平成28年度補正予算や条例の一部改正など16議案が原案どおり可決され、専決処分3件について報告しました。また、市議会議長あてに提出された陳情書1件が採択されました。

詳しくは、議会事務局 ☎ 0287-88-7114 までお問い合わせください。

28年度の補正予算

○一般会計

平成28年度一般会計予算の歳入・歳出をそれぞれ3億9137万円増額し、補正後予算総額を121億2656万3千円としました。

主な内容は、マイナンバー関連事務委任に係る交付金など行政情報化推進費896万4千円、消費税の引き上げによる影響を緩和するため低所得者を対象に1人あたり1万5千円を給付する臨時福祉給付金事業費9772万6千円、障害者の介護給付や訓練給付、障害児支援事業の利用者増に伴う増額分7930万6千円、こども医療費の増額分などによる母子福祉事業費1525万円、医療扶助費の増額などによる生活保護扶助費3235万円、ふれあいの道づくり事業の施工箇所増加に伴う費用

800万円、国の補正予算で採択された補助事業に伴うグラウンド等の整備を行う南那須中学校施設整備費4300万円、平成34年に開催される栃木国体のアーチェリー競技のための施設整備として国体開催整備事業費2815万8千円、8月に発生した台風9号で被災した農地及び農業用施設の復旧を図るため、農地農業用施設災害復旧費316万8千円などです。

また、契約満了に伴い平成29年度以降の新たな契約を進める必要がある「自家用有償バス運行業務委託」、「鳥山中学校スクールバス運行業務委託」について、債務負担行為を追加、補正しました。

○特別会計

国民健康保険の事業勘定は、職員人件費、新国保制度導入準備に伴う国保システム改修委託費、一般保険者療養給付費および高額療

養費の増額により、歳入・歳出それぞれ1億8734万8千円増額し、補正後の予算総額を42億3865万3千円としました。また、診療所勘定については、職員人件費と医療機器の廃棄処分委託料の増額により、65万5千円増額し、7454万3千円としました。

熊田診療所は、職員人件費として、127万4千円増額し、5134万7千円としました。介護保険は、保険給付費の所要額の補正や平成29年度に策定する第7期介護保険事業計画に伴う住民への調査業務委託など、5799万4千円を増額し、26億4494万6千円としました。

下水道事業は、精査に伴い人件費および下水道処理施設維持管理費の委託料を204万円増額し、3億5844万円としました。

○企業会計

水道事業は、水道事業収益について40万8千円を増額し、5億6624万1千円、水道事業費用は、668万3千円増額の5億2503万8千円に、資本的支出は、1076万9千円減額の2億8825万3千円としました。主な内容は、収入が、地方公営企業職員の児童手当に係る一般会計繰入金が増額と賞与引当金等の引当金戻入益の計上です。支出は、水道管仕切弁の修繕および石綿管撤去費、消費税等の経費の増額と平成27年度に実施した繰上償還に係る元利償還金の減額です。

条例の一部改正

・国家公務員の配偶者同行休業について、人事院規則の改定により、休業の期間の再度の延長ができる特別の事情が定められたことに準

じ、「市職員の配偶者同行休業に関する条例」を一部改正しました。

・平成28年8月の人事院勧告に伴う給与改定等に準じ、今年度の給料表、勤勉手当、診療所医師の初任給調整手当の額を引き上げるほか、扶養手当の見直し等に伴う所要の改正に伴い、「市職員給与条例」、「市診療所医師の給与の特例に関する条例」、「市嘱託職員及び臨時的任用職員の任用、給与その他の勤務条件に関する条例」を一部改正しました。あわせて、本市の特別職である市長、副市長および教育長の期末手当について特別職の国家公務員に準じた引き上げを行うため、「市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例」を一部改正しました。

・地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令等の一部を改正する等の政令、地方税法施行規

新たな 民生委員・児童委員 を紹介します

平成28年12月1日付けで、民生委員・児童委員として厚生労働大臣及び栃木県知事から委嘱された方々をご紹介します。

民生委員は、地域福祉の向上に努める方々であり、児童委員を兼ねています。また、児童委員の中には、児童福祉を専門に担当する主任児童委員がいます。それぞれの委員は、地域の中で相談や支援を行うボランティアで、任期は3年です。お気軽にご相談ください。

また、欠員の地区については、隣接する地区の民生委員が担当することになります。

■問合 健康福祉課 ☎0287-88-7115

南那須地区							
No	氏名	担当地区	電話番号	No	氏名	担当地区	電話番号
1	曾根原 勉	田野倉・岩子	88-9832	16	平塚 勇一	月次	88-8787
2	大森 捷夫	小倉・宇井	88-9447	17	澤村 絹代	大金台	88-0886
3	久保居壽子	大金	88-1720	18	平山久美子	南大和久	88-2913
4	大谷 頼正	東原・小河原	88-2283	19	塩田 勇一	藤田	88-7524
5	増子 幸代	高瀬	88-7163	20	佐藤 妙子	三箇下	88-9438
6	小堀 順子	大里・曲田	88-8202	21	堀江 光子	三箇中	88-9175
7	阿久津美智子	森田宿・小嶋・輪之内	88-2261	22	横山ミチヨ	三箇上	88-9221
8	佐藤 京子	曲畑	88-8516	23	片岡 喜代	上川井	88-8100
9	鈴木 浩枝	八ヶ代	88-8563	24	高野 正子	下川井上	88-9111
10	小池ハツイ	福岡・芦生沢	88-8448	25	落合 孝子	下川井下	88-8135
11	越井みどり	鴻野山	88-1552	26	須藤 悦子	志鳥下	88-8901
12	欠員	こぶし台		27	戸谷加代子	志鳥中	88-8625
13	笠井美枝子	小白井・西野	88-7979	28	小口みよ子	志鳥上	88-8836
14	相田 秀夫	熊田西	88-8688	29	菊地恵美子	主任児童委員	83-0920
15	見目 一之	熊田東	88-8978	30	加藤 秀美	主任児童委員	88-0288

烏山地区							
No	氏名	担当地区	電話番号	No	氏名	担当地区	電話番号
1	菅俣 香津	あたご(国道西側)	83-0690	25	奥畑 幸一	向田東、向田南	84-2510
2	神長 典子	あたご(国道東側)	82-2571	26	樋山 康男	向田西一、向田西二	84-2384
3	寺門ノブ子	金井(国道西側)	82-2538	27	馬籠 政光	落合	84-0045
4	小森美知子	金井(国道東側)	83-0307	28	大橋 廣子	宮原	83-0358
5	欠員	金三、南(南1丁目)		29	大島 悦子	上境三ツ木、上境一の沢	84-2844
6	村上 和男	金三、南(南2丁目)	84-1788	30	澤村 克巳	上境中、上境上平	84-0584
7	中村 光子	金三、南(初音)	83-1215	31	大輪 良夫	下境上、下境西、下境尼寺	84-2735
8	阿久津恵子	仲町	82-2051	32	小原澤英雄	下境前石原、下境後石原、下境川辺、小原沢	84-2587
9	田村 千洋	泉町	84-0052	33	根本 和一	横枕、小木須上	84-3293
10	井上ツヤ子	鍛冶町	83-0698	34	荻野目武久	小木須中、小木須四斗蔭、小木須川戸、小木須国見	84-3330
11	川上 幸子	日野町(中央2丁目、初音、旭1丁目1~4・6・7)	82-3780	35	永山たき子	大木須	82-2193
12	大橋東洋雄	日野町(旭1丁目22~24、旭2丁目4~8・11~15)	83-1675	36	平山トミ子	大沢	83-1851
13	服部 智子	日野町(旭1丁目5・8~21、旭2丁目1~3・9~10)	82-2236	37	石川多喜栄	興野上、興野中	83-0767
14	木性とし子	元田町	84-0082	38	佐藤恵美子	興野下一、興野下二	82-3902
15	萩原 宣子	屋敷(中央3丁目)	82-2288	39	大谷 幸子	滝田本郷	83-1748
16	戸田 恭子	屋敷(中央1丁目)	82-3702	40	高久 廣美	入滝田	84-1801
17	須田 孝子	城東	82-2789	41	渡邊志恵子	中山、八ヶ平、平野	84-2043
18	横山 孝子	高峰パークタウン	82-2383	42	鈴木 傑	谷浅見	84-0787
19	岡崎さく子	神長上、神長中、神長川西	82-3262	43	木村 友子	大桶中、大桶下	84-2101
20	高瀬 正衛	滝、神長下	83-1906	44	大野 寛文	大桶上、白久	83-0415
21	高根沢フサエ	野上上の一部	83-1492	45	高野 幸恵	主任児童委員	83-2164
22	小菅 喜子	野上上の一部、野上下	83-1515	46	欠員	主任児童委員	
23	寺澤トミ子	野上第四	82-2572	47	齋藤 恵子	主任児童委員	84-2541
24	氏家 律子	野上戸戸、野上台団地	84-0551				

則等の一部を改正する省令などが公布され、平成29年1月1日以降に順次施行されることに伴い、「市税条例等」を一部改正しました。

・所得税法等の一部を改正する法律の公布および外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律施行令等の一部を改正する政令の施行に伴

副市長の人事

平成29年1月31日で任期満了となる副市長・國井豊氏を引続き副市長として選任することが、同意されました。

い、「市国民健康保険税条例」を一部改正しました。

議決事項

・国道と市道の相互移管により、現在の「一般国道294号」の一部区間を市道として認定することとしました。

・「平成28年度農地・農業用施設災害復旧事業の施行」について、平成28年台風9号により、被害を受けた

その他

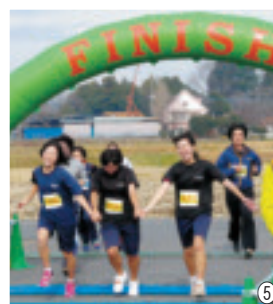
・損害賠償の額の決定及び和解に関する3件の専決処分について報告しました。

農地・農業用施設の災害復旧を市事業として施行することとしました。

・車両事故について損害賠償の額を決定し、和解することとしました。

・市議会議長あてに提出された陳情書「森林・林業基本計画」の推進を求める陳情」が採択され、国会、関係行政庁へ意見書が提出されました。

大会



■5キロコース

【中学男子】①渡邊海人(鴻野山) ②塩野目英(旭1丁目) ③石井颯(旭1丁目)

【一般男子39歳以下】①林田祥志(矢板市)新 ②江沢拓真(群馬県) ③植田勝貴(福島県)

【一般男子40歳以上】①青木智広(日光市) ②高橋玄洋(茨城県) ③大関卓(宇都宮市)

【一般女子39歳以下】①渡辺未嶺(矢板市) ②木村真希(那須塩原市) ③池田久留美(那須塩原市)

【一般女子40歳以上】①豊田純(芳賀町) ②小松原美貴(南1丁目) ③安藤富美子(大田原市)

■ハーフマラソン

【一般女子高校生以上】①坂口瑛(富山県)新 ②人見綾香(那須町) ③木村世奈(茨城県)

【一般男子高校生～39歳以下】①原田勝(群馬県)新 ②駒木根一弘(福島県) ③伊藤浩嗣

(鹿沼市)

【一般男子40～49歳】①大山研二(茨城県)新

②立花則夫(愛知県) ③大久保幸夫(埼玉県)

【一般男子50～59歳】①高坂治彦(福島県)

②金井達夫(福島県) ③小林公則(茨城県)

【一般男子60歳以上】①東爪完治(那須塩原市)

②川原田博志(富山県) ③大木己芳(野上)

■ウォーキング…タイム計測なし

※敬称略、「新」は大会新記録



①約800人が参加したハーフマラソン ②大金吊り橋を渡るランナー ③地域住民からあたたかい声援が送られる ④ハーフで優勝した2人 ⑤そろってゴール! ⑥親子マラソンのスタート ⑦豚汁を仕込む ⑧沿道には大勢の応援。

1940人のランナーが快走

第12回那須烏山 マラソン

今年で12回目となった「那須烏山マラソン大会（同実行委員会主催）」が、12月4日(日)、保健福祉センターを発着点に開かれ、北は北海道、南は山口県から訪れた全国各地のランナー1940人が冬の那須烏山路で健脚を競いました。

絶好のマラソン日和となった当日は、ウォーキング、ハーフ、5キロ、3キロ、2キロ、親子マラソンが続々とスタート。それと同時に、那須烏山市ふるさと太鼓保存会による威勢の良い太鼓の演奏でランナーを送り出しました。一方、会場では、食生活改善推進団体協議会や興野直売所の皆さんにより、「豚汁」が振舞われ、走りきったランナーの疲れを癒しました。

今大会の結果は、5部門で大会新記録を更新。また、今年は、ハーフマラソンの男女各優勝者に、ユナイテッド航空会社と(株)ケン・コーポレーションの協賛により、今年4月9日(日)にグアムで開催される「ユナイテッド・グアムマラソン2017」への招待券が贈られました。

ハーフ一般男子で優勝を果たした原田勝さんは、「折り返した後、すれ違うランナーの皆さんが声をかけてくれ、気持ちよく走れた。あたたかい大会だと思った」と話し、一般女子で優勝した坂口瑛さんは、「アップダウンが激しかったが、大自然の中を走り抜けることができ気持ちが良かった。優勝を目指していたので嬉しい」と話していました。

幼稚園・保育園 生活発表会



いくつかの園の
生活発表会の様子
をご紹介します。



上から2枚ずつ、烏山みどり幼稚園、つくし幼稚園、すくすく保育園。

部門別上位入賞者

■2キロコース

【小学5・6年生男子】①河原蒼(上境) ②永井学翔(三箇) ③滝口悠映政(志鳥)

【小学5・6年生女子】①高野佑香(那須塩原市) ②柴田瑠沙(さくら市) ③関野思衣(宇都宮市)

【親子(幼児～2年生)】①倉持義彦・晴天(宇都宮市) ②深井聡・真生(矢板市) ③若山博彰・碧紀(さくら市)

【親子(3・4年生)】①宇木秀之・叶太朗(埼玉県) ②杉山隆之・康生(那須塩原市) ③菊地恵美・倅多(野上)

■3キロコース

【中学生女子】①内藤未唯(小倉) ②森樹香(千葉県) ③豊田緋萌瑠(野上)

【一般女子】①内野奈緒美(高根沢町) ②勝田真弓(益子町) ③佐藤恭子(福島県)

【男子全般】①伊藤達志(那須塩原市)新 ②鈴木裕野(中央3丁目) ③永井公彦(宇都宮市)

市表彰式

4世代以上同居116家族に「まちづくり貢献賞」 特別功労・市政功労など53人と1企業を表彰

市では、12月3日(土)、様々な分野で活躍する人や団体などを表彰する「市表彰式」を鳥山公民館で開きました。

今年は、例年行われている特別功労表彰や市政功労表彰などのほかに、4世代以上が同居している家族を「まちづくり貢献賞」として表彰しました。

この大家族を表彰する制度は、県内では初めて。多世代で「助け合い」「支え合って」暮らす家族の良さを普及させるとともに、その家族の絆を一層深め、地域福祉の向上に貢献することを目的としています。

式典では、53人1企業、116家族に大谷範雄市長から表彰状が贈呈されました。受賞者を代表して、永年にわたり藤田行政区



大谷市長から表彰状を受け取る受賞者。

長を務める中山衆男さんは、「今日の表彰を機に心新たに市政充実に向けた活動をしていきたい」とあいさつしました。

表彰式の受賞者は次のとおりです。(順不同、敬称略、()内は功績)

■**特別功労表彰**(地方自治、社会福祉、保健衛生、教育、文化など各界各分野において市の発展や公益の増進に寄与された特に顕著な功労をたたえるもの)

中山五男、樋山隆四郎(市議会議員、川勾勇二、中山衆男行政区長、小池孝子、佐藤信作、平山精孝、小森八郎(交通指導員、樋山礼子(市食生活改善推進員協議会、木村保司、栗昭三(農業の振興)、大嶋道雄(南那須土地改良区理事等)、青木一夫(鳥山土地改良区理事等)、関沢基久、小林春男(那須鳥山商工会理事等)、佐藤邦行(市観光協会会長等)

■**市政功労表彰**(市の特別職、公共的法人、市の事務または事業と密接な関連を有する公共的団体等の役員として多年にわたり市政の確立および発展、市民の福祉の増進などに寄与された顕著な功労をたたえるもの)

両方則子(統計調査員)、中山操、高沼フミ子、岡田徳一郎、福田清二、檜山勉(交通指導員)、水沼洋文(国民健康保険運営協議会委員)、森稔聖、鈴木幸子、西原和子(市社会福祉協議会の役員)、鈴木秀之、佐藤善明(那須南農業共済組合の役員)、塩野久夫、名畑目稔、平野平、阿久津太、大金文雄(荒川南部土地改良区の役員)、根本友美、平山孝、中山誠、和久純義(南那須土地改良区の役員)、田島一夫(鳥山土地改良区の役員)、

棚橋誠一郎、西原潔、渡辺大明(那須鳥山商工会の役員)、石川翔平、阿部郁男、束原正記、相吉澤加津江、室井成一、小堀健順(市観光協会の役員)、板倉美喜枝、板橋由美(スポーツ推進委員)

■**善行表彰**(人命救助活動や公益のために私財を寄附したことなどの隠れた善行や功績など表彰するもの)

(株)ケン・コーポレーション代表取締役社長 長佐藤繁(ふるさと応援寄付金500万円を寄附) 未満の寄附をされた人へ贈呈するもの)

五十畑孟(専門書籍の寄贈)

■**まちづくり貢献賞** 地域の振興および活性化に貢献する無償の市民活動や地域活動の取り組み

を表彰するもの)

中村光子、横山美智子、野木國子(市食生活改善推進員協議会の役員)

その他、4世代以上同居家族表彰として116家族

那須鳥山市ふるさと大使に8人を委嘱

市に愛着と誇りを持ち、市の魅力を発信してもらうことを目的とした「那須鳥



ふるさと大使に委嘱された高野さん。

山市ふるさと大使」の委嘱状交付式が、市表彰式と同時に開催で行われ、市内外で活躍する同市出身者など8人をふるさと大使に委嘱しました。

当日、交付式に出席した元全日空機長の高野開さんは、「パイロット現役だった頃は、毎日のように上空からふるさとを眺めていた。年々、ふるさとを愛する気持ちが強まり、気付けばふるさと自慢をしている自分がいた。これからも多くの人にふるさと那須鳥山市の魅力を伝えたい」と話していました。

